



裏磐梯物産館で案内中！

裏磐梯ビジターセンターの改修工事期間中（昨年10月～R6年9月末予定）は、裏磐梯物産館内に「裏磐梯ビジターセンター案内窓口」を開設しています。窓口ではクマ鈴などのレンタルグッズの貸出や、裏磐梯の自然情報のご提供を行っています。皆様のお越しをお待ちしております。



見どころボード

五色沼を中心とした裏磐梯で発見した自然などの見どころを紹介！パークボランティアさんのおすすめ情報も！

裏磐梯広域地図

裏磐梯の見どころを地図で紹介！道路状況やクマ情報も更新中です。



チョウ類モニタリング研修会のお知らせ

チョウの仲間は環境の変化にとっても敏感な事から、その土地の環境を測るバロメーターとして調査などに利用されています。チョウの仲間の調査方法を知って、裏磐梯の環境の変化を追いかけてみませんか？

- 日時 : 7月13日 10:00 ~ 12:00
- 場所 : 裏磐梯サイトステーション
- 講師 : 中村 康弘 氏 (日本チョウ類保全協会事務局長)
- 参加料 : 無料
- 持ち物 : 飲み物、筆記用具、野外に出るための服装 (帽子・長袖・長ズボン・運動靴等)、カメラ、チョウの図鑑 (お持ちの場合)
- 申込 : 裏磐梯ビジターセンターへお電話または直接受付
- 定員 : 25名 (先着順)

予告：夏のプログラムのお知らせ

夏休みの期間中に自然をテーマにしたイベントを実施します。詳細が定まりましたら、公式HPやSNSで告知いたしますので、見逃さないようフォローしてお待ちください！

裏磐梯 VC 公式 SNS



チェック & フォローをお願いします！



YouTube
@urabandai_vc



ウェブサイト
https://urabandai-vc.jp



X (旧Twitter)
@urabandai-vc



Instagram
@urabandai_visitor_center

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-697
【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/
【休館中】2023年10月1日～2024年9月30日まで (予定) 改修工事のため休館

裏磐梯図鑑 No.38

トケン類の戦略

ようこそビジターセンターへ

新規 PV さんと研修を受けました

自然解説員の巡視日記

雄国沼湿原へ向かう道

「ホオアカ」

名前の由来である頬の赤い斑紋がとても愛らしいです。雄国沼湿原では、ニッコウキスゲの花のシーズンが終わった後に、自信満々にさえずっていました。



裏磐梯図鑑 No.38

トケン類の戦略



ここでクイズ! トケン類ってなんだ?

トケンとは漢字で書くと「杜鵑」と書きます。難読漢字が好きな人は見覚えのある文字かもしれません。ヒントは「鳴かぬなら〜」ではじまる戦国の3英傑について歌われたあの鳥です。

正解は「ホトギス」。あまり姿を見ることはありませんが、「特許許可局(とつきよきよかきよく)」などと聞きなし※されるさえずりは裏磐梯でもよく聞きますので、聞いたことがある方も多いかもかもしれません。ホトギスを漢字で書いた時の「杜鵑」を音読みした時の「トケン」がトケン類の由来となっています。つまりトケン類とはホトギスの仲間という事です。

特徴その①

彼らの特徴といえはまず「托卵(たくらん)」です。他の種類の鳥の巣にこっそり卵を産み、子育てを代わりにやってもらおうという不思議な生態をしています。

彼らは托卵の成功率を上げるため、様々な工夫を凝らしています。

まず、卵を産み落とす際、すでに卵を産んで温めている巣に産卵しますが、卵が急に増えてしまっては不自然ですので、親がいない間にもともとある卵をひとつ持ち去り、代わりに自分の卵を追加します。卵は托卵先の卵に色も柄もそっくりで、簡単には見分けられません。

こうして托卵先に紛れたトケン類の卵は、ほかの卵より先に孵り、孵ったヒナはなんと他の卵を全て巣の外へ捨ててしまいます。

こうして托卵先の親(仮親)から貰える餌を独占し、どんどん大きくなるのです。

特徴その②

彼らの特徴は「托卵」だけではありません。たとえばその名前の由来となっているさえずりも特徴的です。

「ほっとぎす」と鳴くホトギス
「かっこう」と鳴くカッコウ
「じゅういちい」と鳴くジュウイチ

この3種は声そのまま名前となり、ツツドリは、「ぽぽ…ぽぽ」と紙の筒の口を手のひらで叩いた時の音のような鳴き声からツツドリと名前が付けられています。

特徴そのext…

彼らの面白い特徴はまだたくさんあります。猛禽類にそっくりなおなかの縞模様や、ジュウイチのヒナの翼内側にある、くちばしにそっくりな模様、赤色型ツツドリ、…などなど、残念ながらスペースの都合上、ここでは紹介できませんので、気になった方は是非調べてみてください。きっとトケン類の魅力にはまってしまいう事でしょう!

また、是非とも野外でトケン類を探してみてください。そこにはまだ知られていないユニークな行動や、生態があるかもしれません。

写真の解説

カッコウ(Cuculus canorus)

体の大きな方がカッコウのヒナです。仮親(コヨシキリ)に餌をもらっています。(北海道で撮影)

参考文献
・サントリーホールディングス「日本の鳥百科」
https://www.suntory.co.jp/eco/birds/encyclopedia/

自然解説員の巡視日記

雄国沼湿原へ向かう道

全国でも有数の規模を誇る、ニッコウキスゲの大群落の見どころが今年もやってきました。毎年このシーズンになると多くの方が黄色い絨毯となった雄国沼湿原を見に訪れます。もちろんニッコウキスゲ以外にも沢山の見どころがある場所ですので、シーズンが終わった後、人が少なくなった時期に訪れてみるのもおすすめです。



雄国沼湿原は4つのルートで行くことができます。

雄国沼のすぐ近く、金沢峠の駐車場から10分ほど階段を下るコース、雄子沢駐車場から約1時間40分程の傾斜のゆるい山道を登る「雄国せせらぎ探勝路」、北側の傾斜がゆるく長い山道と南側の短い急坂からなる雄国山を通る「雄国パノラマ探勝路」、八方台駐車場から猫魔ヶ岳を登り、そこから雄国沼休憩舎まで急坂を下る「猫魔ヶ岳やまびこ探勝路」の4つです。

各駐車場(探勝路入口)までの公共交通機関は通っていないので、自家用車か、タクシーを利用する必要があります。

これらのルートのうち「雄国パノラマ探勝路」と「猫魔ヶ岳やまびこ探勝路」はそれぞれ一度登山をしてから雄国沼湿原へ至るルートです。他の道とくらべると少し大変ですが、山頂からは雄国沼湿原を一望できたり、天気が良ければ飯豊連峰が望めたりと、大変なぶん眺めは抜群です。体力に自信がある方は是非とも挑戦してみてください。もちろん登山には危険がつきものですので、裏磐梯ビジターセンター窓口などでの情報収集をお忘れなく!

ようこそビジターセンターへ

新規PVさんと研修を受けました!

磐梯朝日国立公園の主に裏磐梯地域で活動されるPV(パークボランティア)さんの新規募集が6月に行われ、総勢22名の応募がありました。

6月の22日と29日には、PVとして登録されるために必要な研修会が行われました! 研修会は座学研修のほか、ベテランPVさんによる探勝路の案内もあり、参加したビジターセンタースタッフも知らなかったことが沢山でおおいに勉強になりました。

これから様々な活動をPVさんとともに行っていきます。活動の様子はビジターセンターのHPでも紹介する予定ですので、是非ご覧ください。



Welcome